

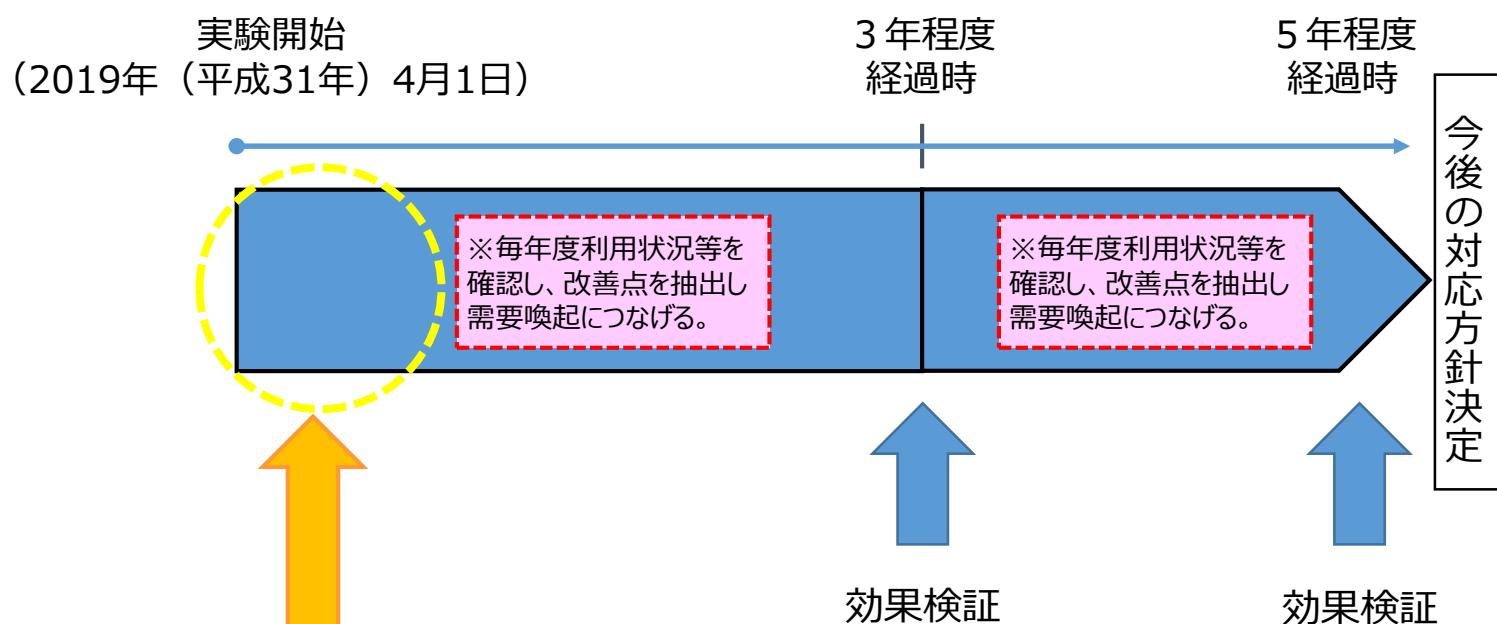
# **いまざとライナー(BRT)の運行による社会実験 1年目の利用状況等と今後の進め方(案)について**

**令和2年2月  
大阪市都市交通局**

## ▶ いまざとライナーの運行による社会実験について

地下鉄今里筋線延伸部（今里～湯里六丁目）における需要の喚起・創出、及び鉄道代替の可能性の検証のために実施

### ○社会実験の効果検証



#### <効果検証を行う際の視点>

- 将来（数年後）における収支採算性の確保の可能性
  - ・いまざとライナー利用者数・並行路線バス利用者数の推移及び今後の見込み
  - ・いまざとライナー利用者のトリップデータ（出発地、目的地）の分析
  - ・事業コスト縮減の可能性（運行ダイヤの効率化、必要経費等の精査）
- 費用便益分析
  - ・利用者への効果・影響として、総所要時間の短縮や、交通費用の削減などの便益等
- 利用者・地域住民の満足度や、地域の活性化などの定性的な効果
  - ・利用者、地域住民へのアンケート調査による満足度や、外出機会の変化の有無
  - ・沿道のまちの状況の変化（例：商業施設の立地や更新など）

⇒ これらを総合的に判断して今後の対応方針を検討

### ○社会実験1年目のまとめ内容

#### ①利用状況等の確認

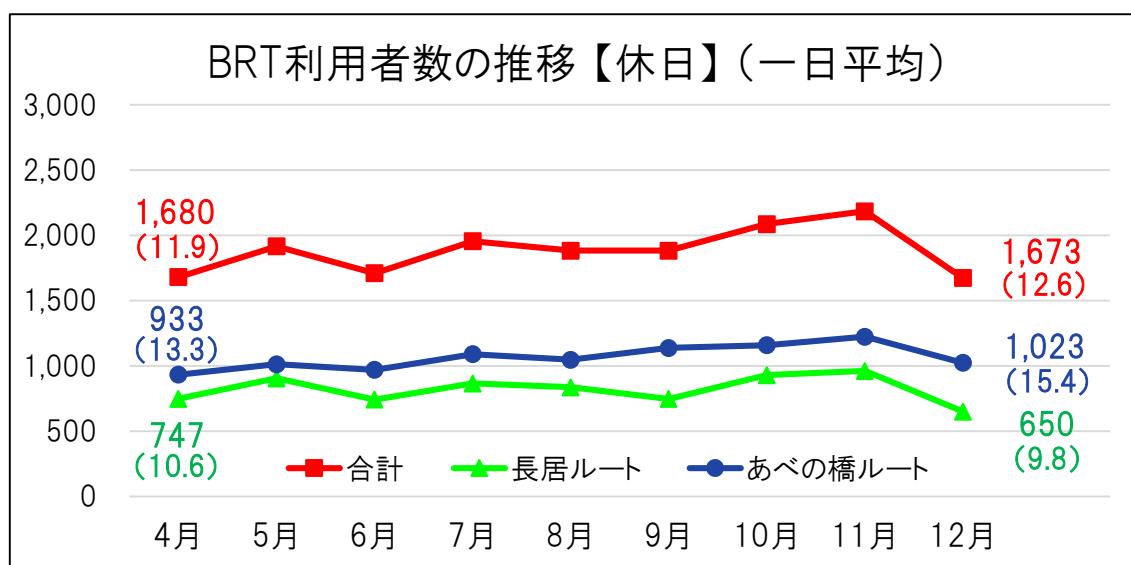
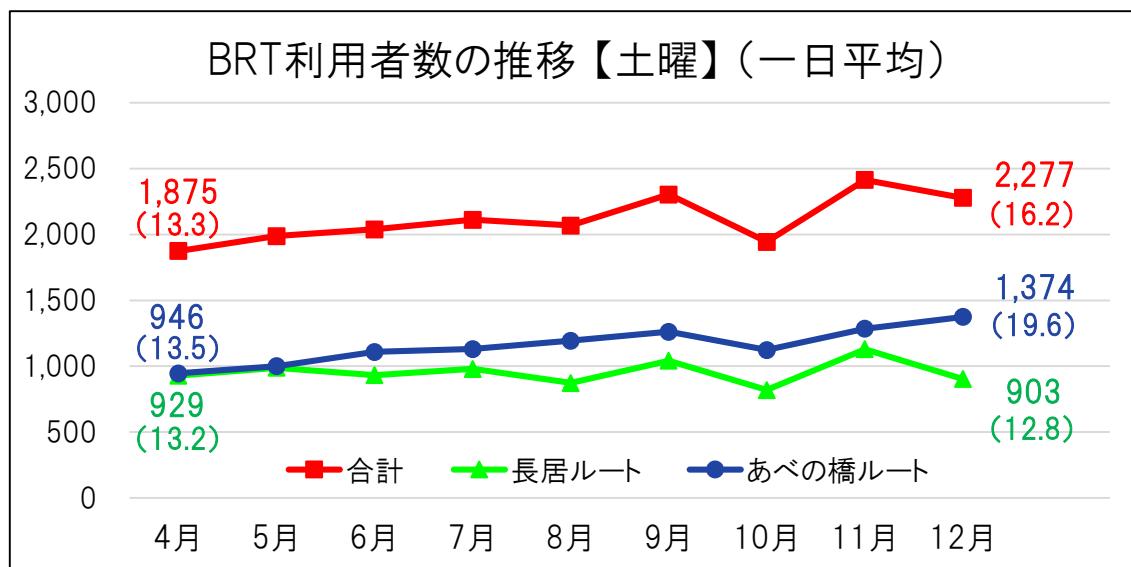
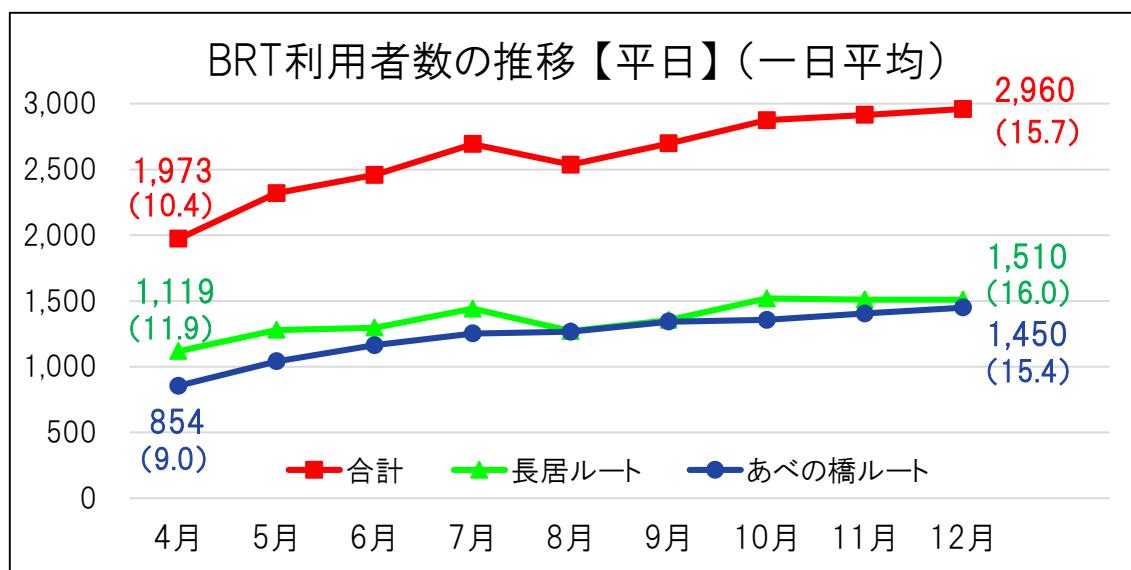
- ・利用実績データを用いて、実態を把握・分析
- ・アンケート調査を実施し、利用のきっかけや社会実験開始前の移動手段などを分析

#### ②改善点を抽出し、需要喚起につなげる方策の検討

利用者数の推移（推計値）

- ✓ 2019年4月1日の運行開始以降、平日は増加傾向にある
- ✓ 土曜、休日は、荒天や沿線イベントによる影響が考えられる（例：10月台風、12月大阪マラソン開催）

※（ ）内の値は、1便あたりの利用者



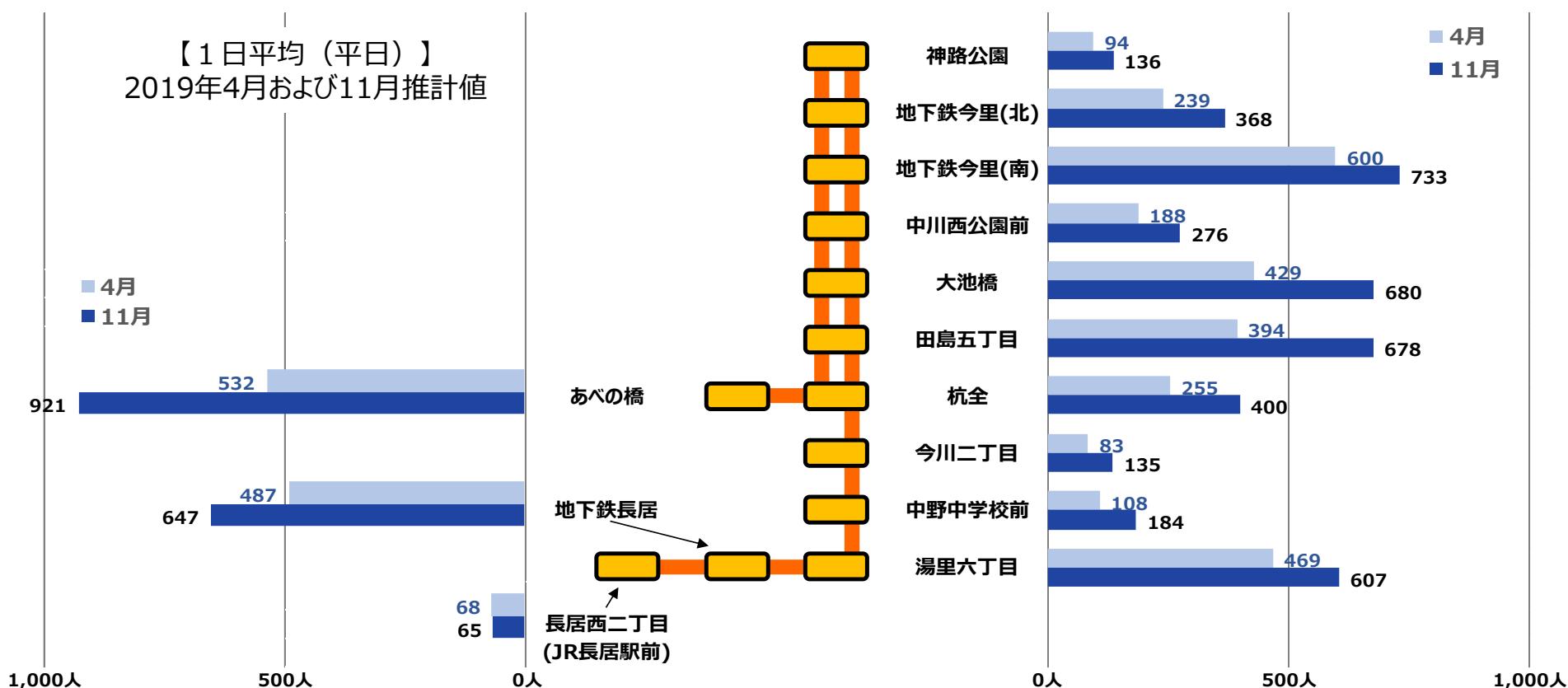
利用者数（推計値）について

2019年7月30日に大阪市のHPで公表した利用者数（暫定値）は、全利用者数のうちシステムで把握できない磁気定期券、1日乗車券及び企画乗車券等により乗車された方を含まない値を示していました。

今回公表している利用者数（推計値）は、2019年9月、10月に乗り込み調査を行い、システムで把握できない券種の利用割合を算出し、その率で補正し推計した値を示しています。

停留所別乗降者数

- ✓ 地下鉄今里筋線延伸区間（今里～湯里六丁目間）の停留所における乗降者数は、4月の運行開始以降、全てで増加傾向にあるが、「中川西公園前」、「今川二丁目」、「中野中学校前」が他と比べ少ない
- ✓ 鉄道との乗り継ぎ停留所のうち、「地下鉄今里」と「あべの橋」の乗降者数は多いが、「杭全」の乗降者数は少ない
- ✓ JR長居駅との乗り継ぎ停留所である「長居西二丁目」の乗降者数は最も少なく横ばい



## ➤ アンケート調査結果

### ○調査の実施概要

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

乗り込み アンケート調査 (乗込調査)  ※利用者	調査対象	いまざとライナー <b>利用者</b> ※平日利用者および休日利用者
	調査方法	降車口で調査員がアンケート用紙を手渡し、郵送回収
	調査日	平日および休日 2019年11月7日(木)、10日(日)の終日
	回収数	1,420

WEB アンケート調査 (WEB調査)  ※利用者・未利用者	調査対象	いまざとライナー沿線区(東成区、生野区、東住吉区)に <b>お住まいの方</b> いまざとライナー沿線区に <b>通勤・通学されている方</b>
	調査方法	WEBによるアンケート
	調査日	2019年12月12日～13日
	回収数	450

沿線住民 アンケート調査 (住民調査)  ※利用者・未利用者	調査対象	いまざとライナー沿線区(東成区、生野区、東住吉区)に <b>お住まいの方</b>
	調査方法	アンケート用紙の配布・回収(配布・回収は連合町会長に依頼) および区民まつりでのアンケート
	調査日	2019年10月～12月
	回収数	沿線区住民 886 区民まつり 東成区111、生野区128、東住吉区147 合計1,272

沿線企業・学校 アンケート調査 (企業学校調査)  ※利用者・未利用者	調査対象	いまざとライナー沿線区に <b>通勤・通学されている方</b>
	調査方法	アンケート用紙の配布・回収(配布・回収は各企業・学校に依頼) (企業2件、病院2件、学校2件)
	調査日	2019年11月20日～12月16日
	回収数	1,999

### ○調査内容(設問)

個人属性、利用状況(目的、経路など)、運行開始前の移動経路や移動手段、利用のきっかけなどを調査

## アンケート調査結果

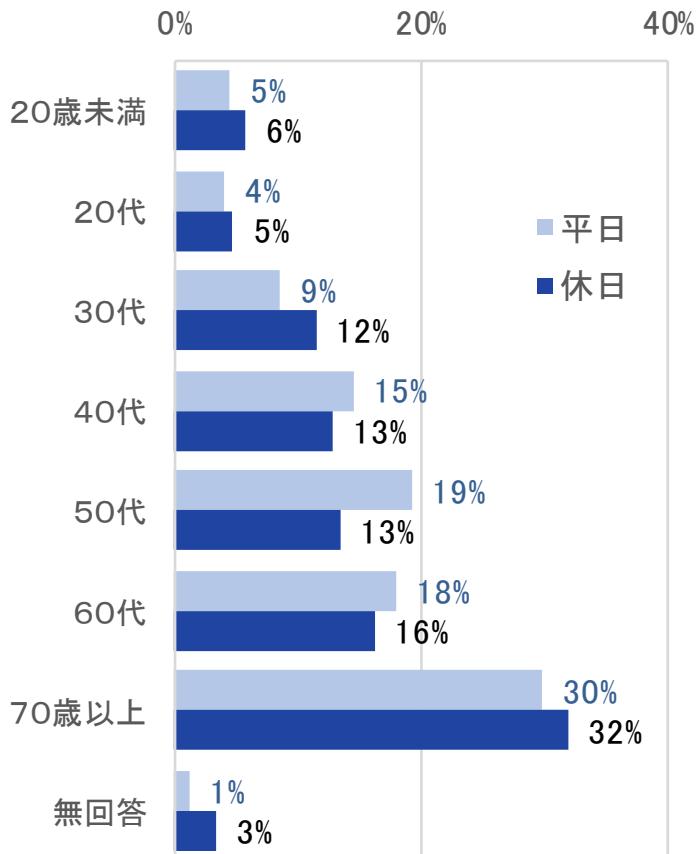
### 結果概要

※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならないものがあります

#### いまざとライナーの利用者特性

##### <年齢区分>

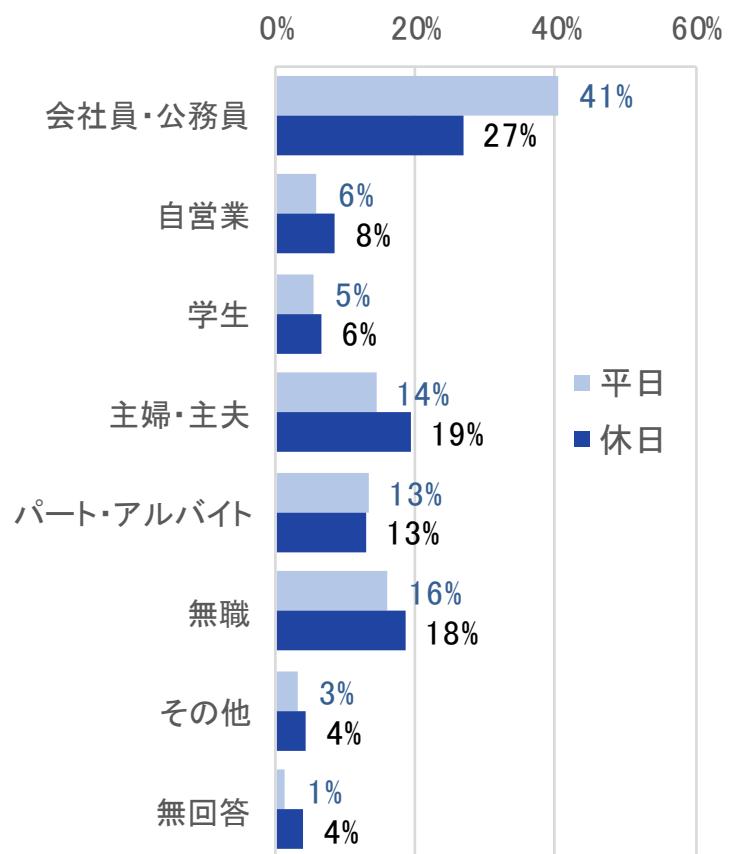
✓ 60歳以上が平日・休日ともに約半数を占める



N=866 (平日) 資料) 乗込調査  
N=504 (休日) 有効回答のみを集計

##### <職業区分>

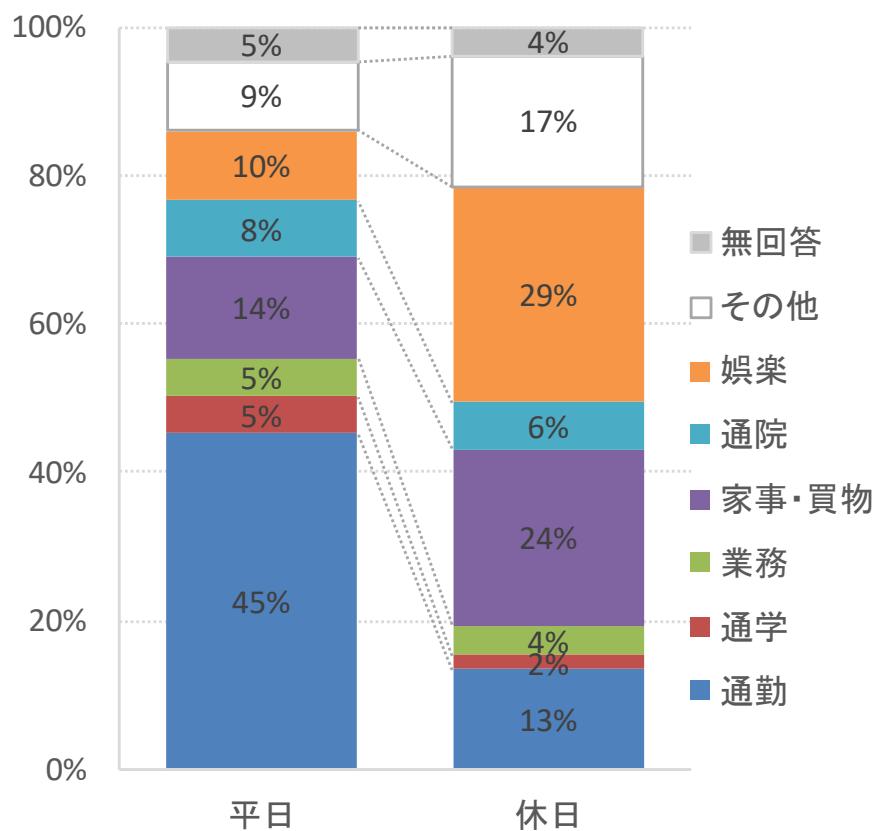
✓ 「会社員・公務員」の利用が最も多く、次いで「主婦・主夫」や「無職」の利用が多い



N=866 (平日) 資料) 乗込調査  
N=504 (休日) 有効回答のみを集計

##### <利用目的区分>

✓ 平日は「通勤」・「通学」が約半数を占める  
✓ 休日は「娯楽」での利用が最も多く、次いで「家事・買物」で、合わせて約半数を占める



N=866 (平日)  
N=504 (休日)  
資料) 乗込調査  
有効回答のみを集計

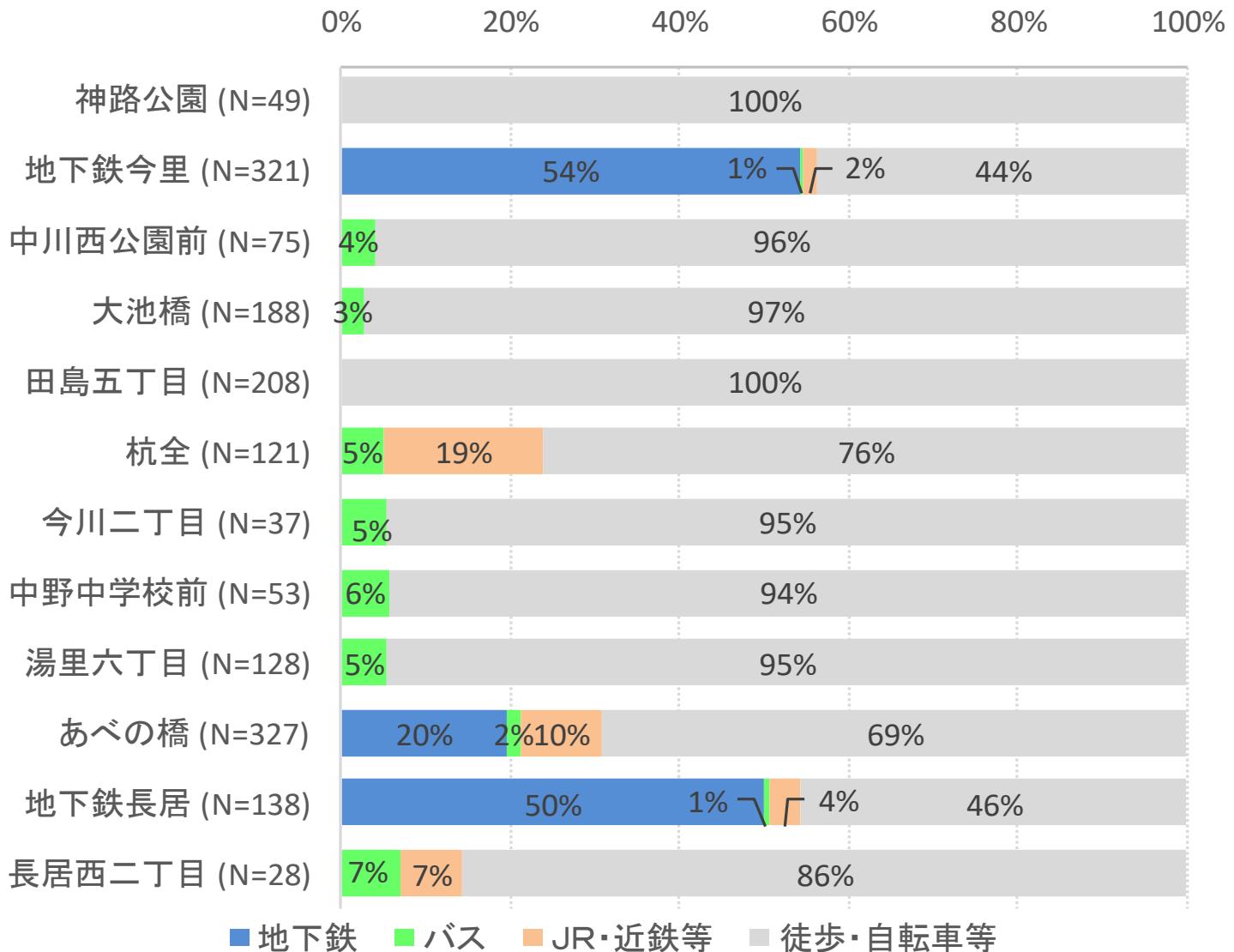
## アンケート調査結果

※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならないものがあります

### いまざとライナーの利用状況

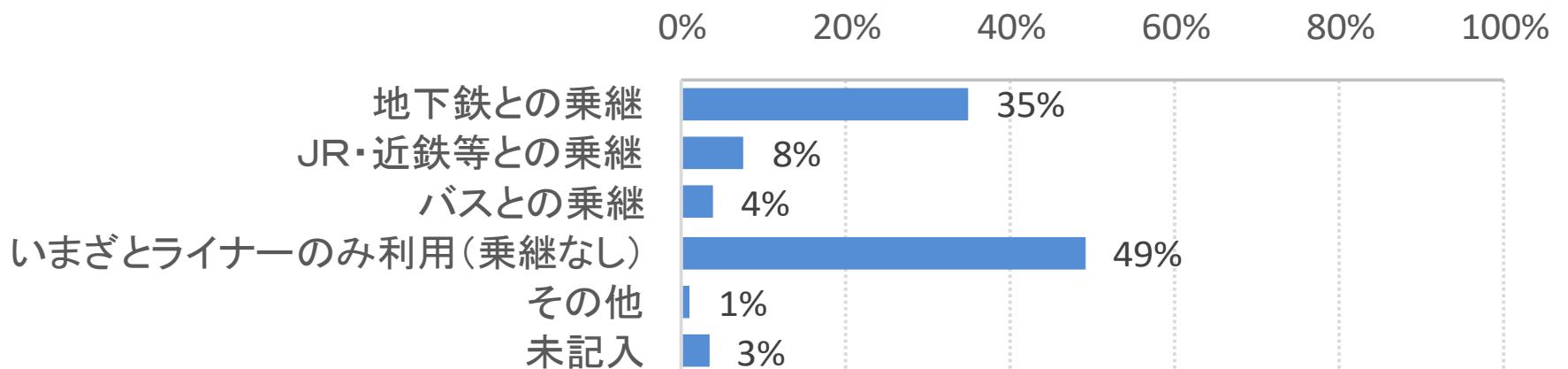
#### <乗り継ぎ利用状況>

- ✓ 平日利用者のうち約4割が地下鉄との乗り継ぎ利用で、約5割がいまざとライナーのみの利用
- ✓ 「地下鉄今里」と「地下鉄長居」では約半数が地下鉄との乗り継ぎ利用
- ✓ 「あべの橋」では約3割が地下鉄やJR・近鉄との乗り継ぎ利用、「杭全」では約2割がJRとの乗り継ぎ利用
- ✓ 「中野中学校前」などの中間停留所においても、わずかではあるがバスとの乗り継ぎ利用がある



資料) 乗込調査 (平日)

回答数866件に対し、乗車停留所名等の記載がない24件を除いた842件、降車停留所名等の記載がない35件を除いた831件について、乗降合わせて合計1673件を集計



N=866

資料) 乗込調査 (平日)  
有効回答のみを集計

## アンケート調査結果

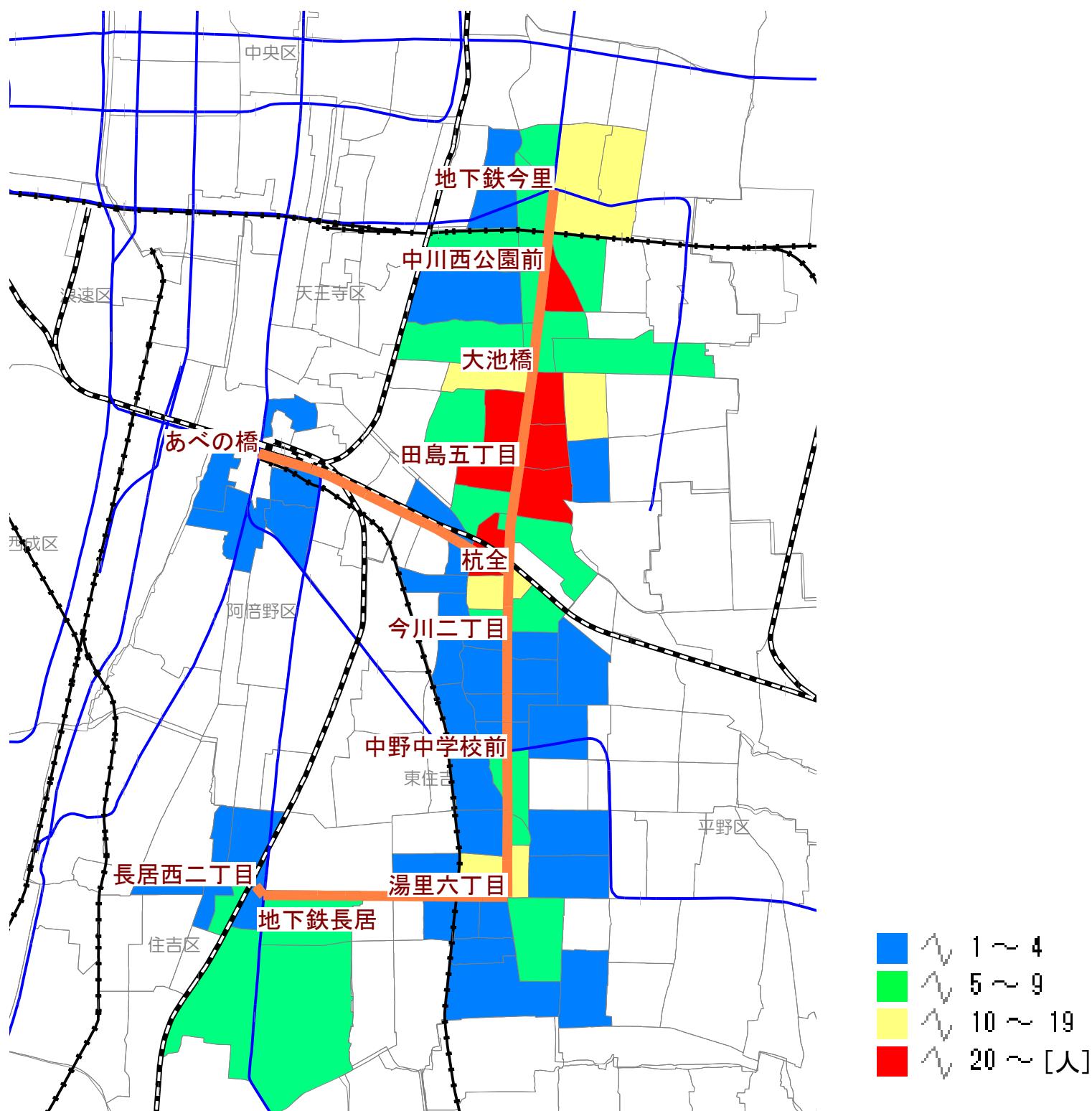
※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならない場合があります

### いまざとライナーの利用状況

#### <いまざとライナー沿線利用者の居住地分布>

- ✓ 平日利用者のうち、沿線にお住まいの方が約 6 割、沿線以外にお住まいの方が約 4 割
- ✓ 沿線にお住まいの利用者においては、「田島五丁目」付近の居住者が多い

- ・平日利用者（計866人）のうち  
「大阪市域外の方：104人（12%）」  
「大阪市内（沿線以外にお住まいの方）：213人（25%）」  
「沿線にお住まいの方：530人（61%）」  
「その他・住所不明：19人（2%）」



N=530

資料) 乗込調査 (平日)

利用者のうち沿線の居住地が記載された有効回答のみを集計 (いまざとライナー沿線概ね500m圏内)

## アンケート調査結果

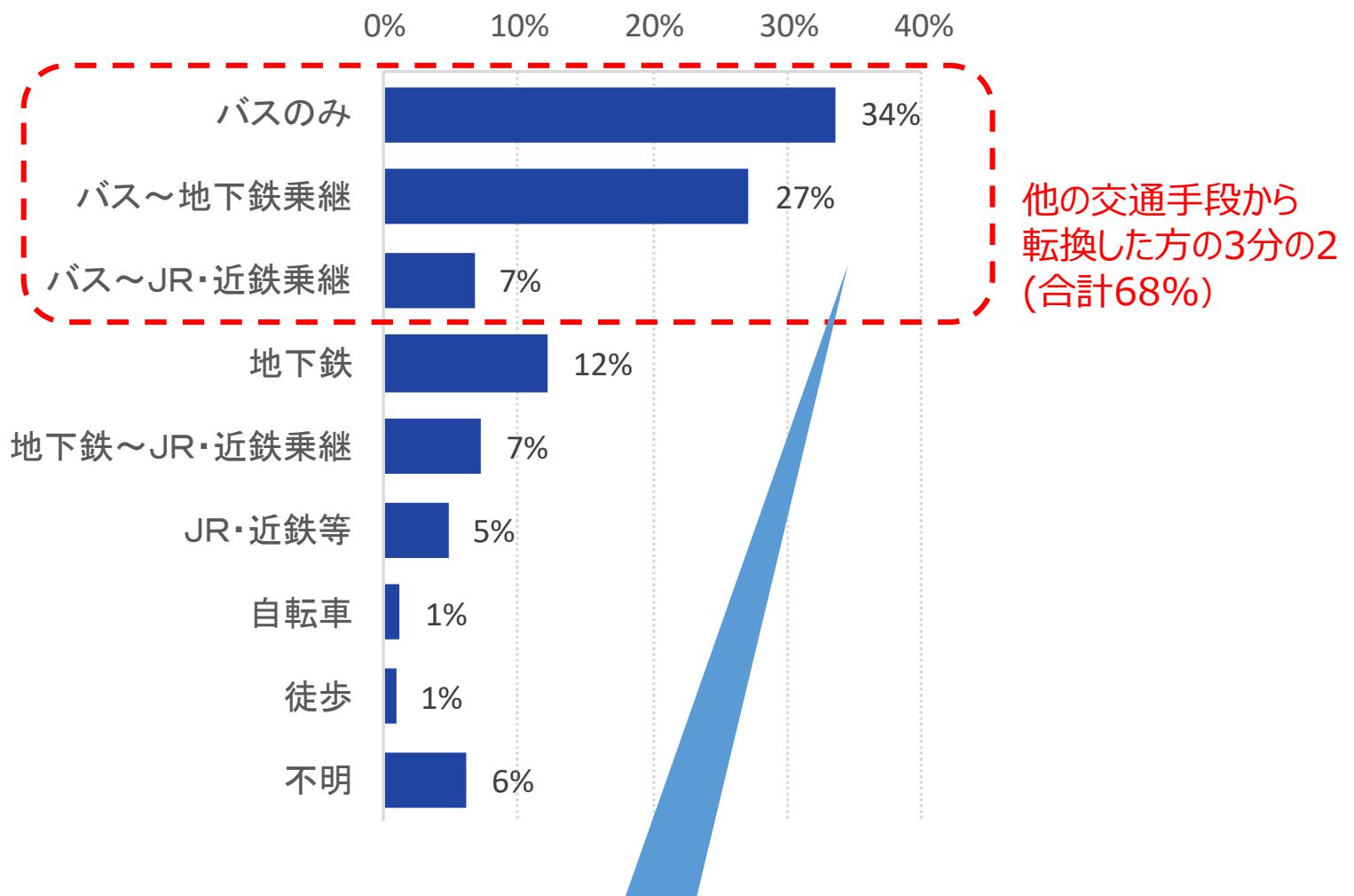
※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならない場合があります

### いまざとライナーへの転換状況

- ✓ 運行開始前には同一目的地への移動がなかった方（新規需要）が約3割
- ✓ 同一目的地への移動があった方（他の交通手段から転換）が約7割
- ✓ 他の交通手段から転換された方のうち、バスからいまざとライナーへ転換された方が3分の2を占める

・平日利用者（計866人）のうち  
 「運行開始前に同一目的地への移動がなかった方：253人（29%）」  
 「運行開始前に同一目的地への移動があった方：566人（65%）」  
 「無回答：47人（5%）」

（運行開始前の同一目的地への交通手段）



#### ■ 運行開始前の主な経路

バスのみ	「田島五～あべの橋」や「杭全～あべの橋」など
バス～地下鉄乗継	「大池橋～蒲生四」「湯里六丁目～本町」など

N=566

資料) 乗込調査（平日）

運行開始前に同一目的地への移動があった方の有効回答に対し、運行開始前の主な交通手段に分類して集計

## アンケート調査結果

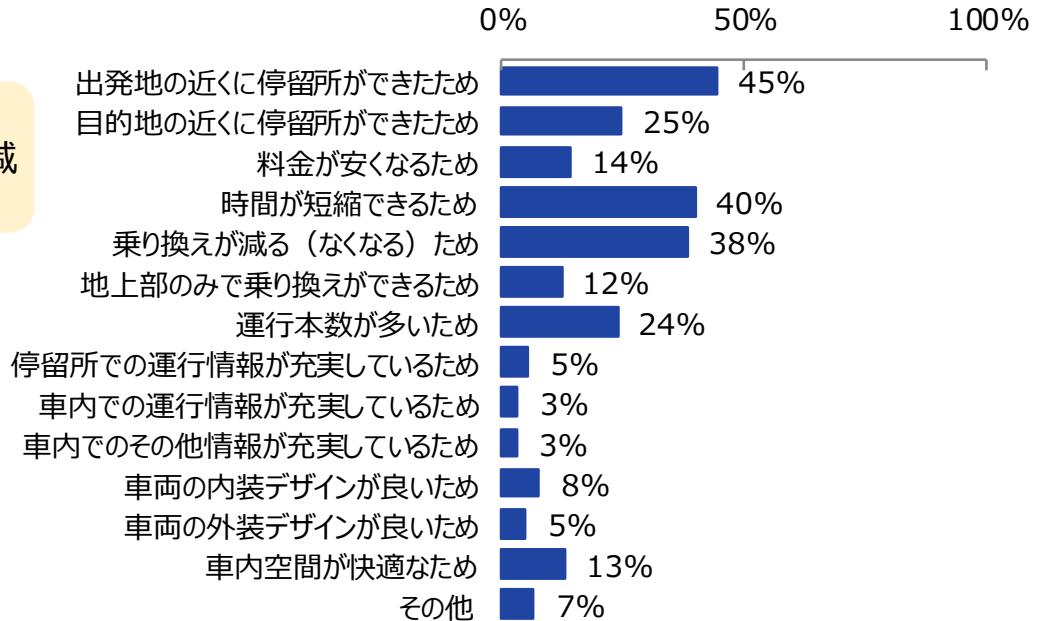
※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならないものがあります

### いまざとライナーを利用する理由

- ✓ 「出発地の近くに停留所ができたため」が最も多い
- ✓ 次いで、「時間が短縮できるため」や、「乗り換えが減る（なくなる）ため」が多い

N=606（複数回答可）

資料）住民調査・WEB調査  
沿線区にお住まいでいまざとライナーを利用されたことがある方の有効回答のみを集計

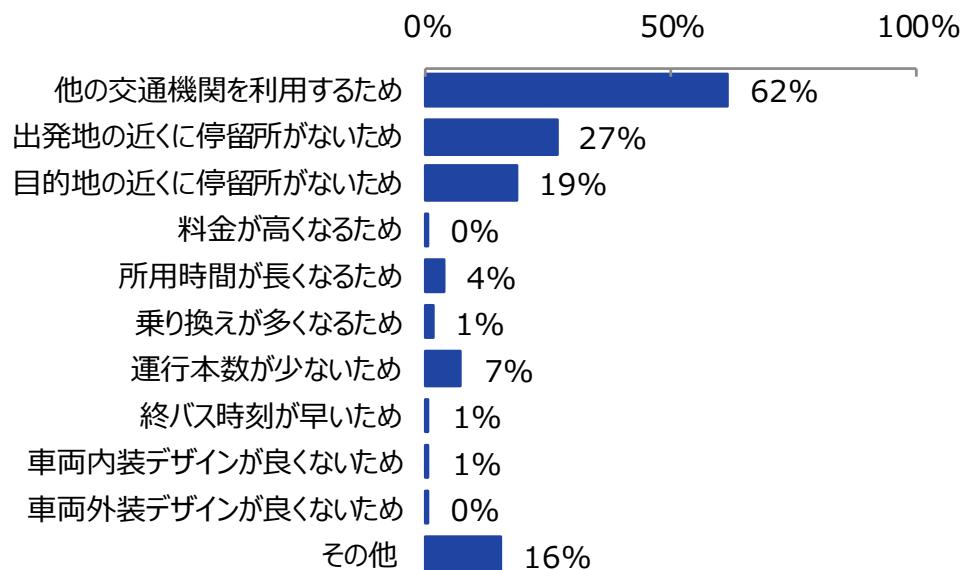


### いまざとライナーを利用しない理由

- ✓ 「他の交通機関を利用するため」が最も多い
- ✓ 次いで、「出発地の近くに停留所がないため」が多い

N=506（複数回答可）

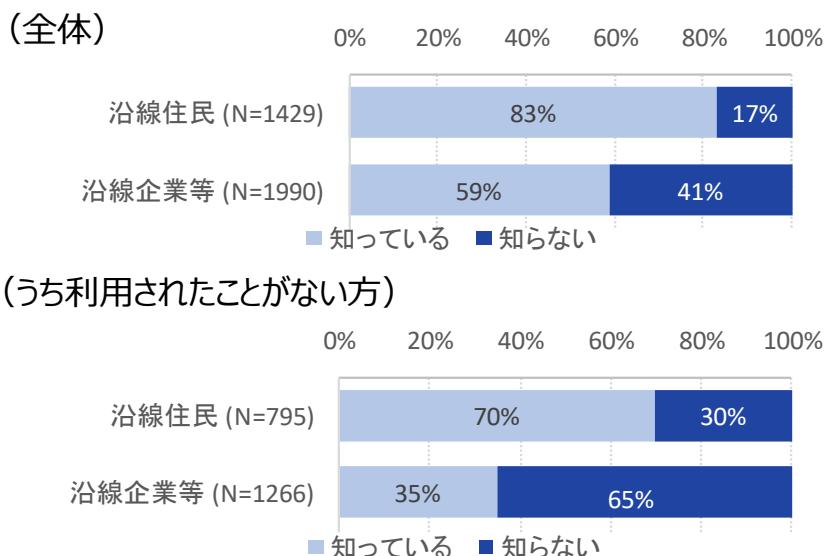
資料）住民調査・WEB調査  
沿線区にお住まいでいまざとライナーを利用されたことがない方の有効回答のみを集計



### いまざとライナーの認知度

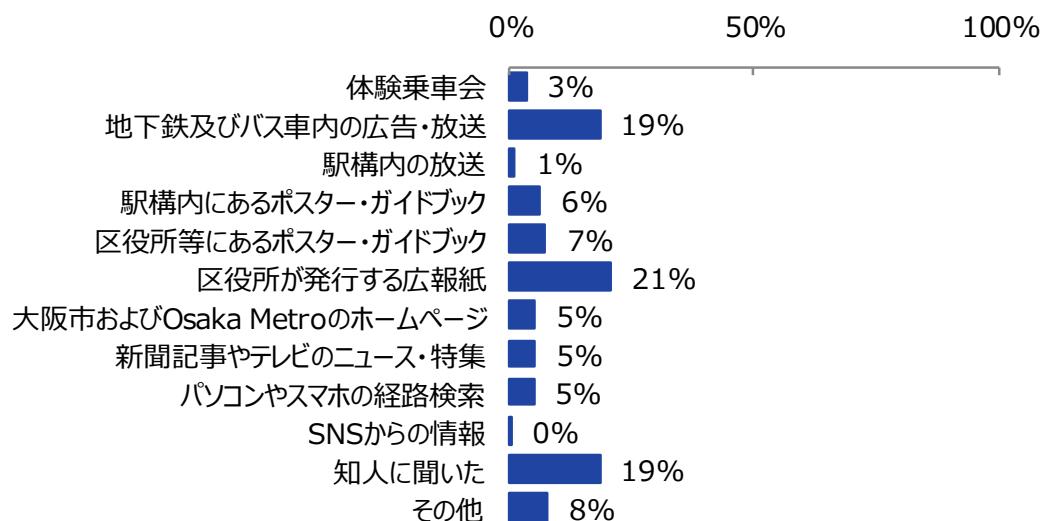
#### <いまざとライナーの認知度>

- ✓ 沿線住民の認知度は約 8 割
- ✓ 利用されたことがない方のうち沿線住民は回答者の 7 割に認知されているが、沿線企業等では認知度が低い



#### <いまざとライナーを知るのに役立った情報>

- ✓ 情報源としては、「区役所が発行する広報紙」、「地下鉄・バス車内の広告・放送」、「知人から聞いた」が多い



N=591

資料）住民調査・WEB調査  
沿線区にお住まいでいまざとライナーを利用されたことがある方の有効回答のみを集計

注）「沿線企業等」とは、沿線の企業・病院・学校

資料）沿線住民は住民調査、WEB調査（沿線区にお住まいの方のみ）の有効回答のみを集計  
沿線企業等は企業学校調査の有効回答のみを集計

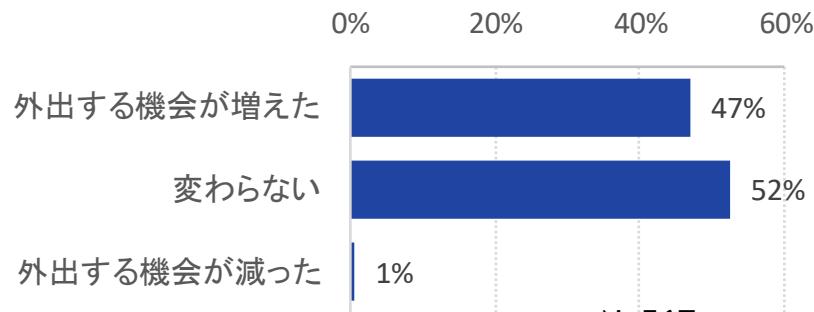
## アンケート調査結果

### いまざとライナーの効果

※アンケート調査結果のパーセント表示は、端数処理の関係で合計が100にならないものがあります

#### <外出機会の変化>

✓ 沿線住民の利用者の約半数で外出機会が増加



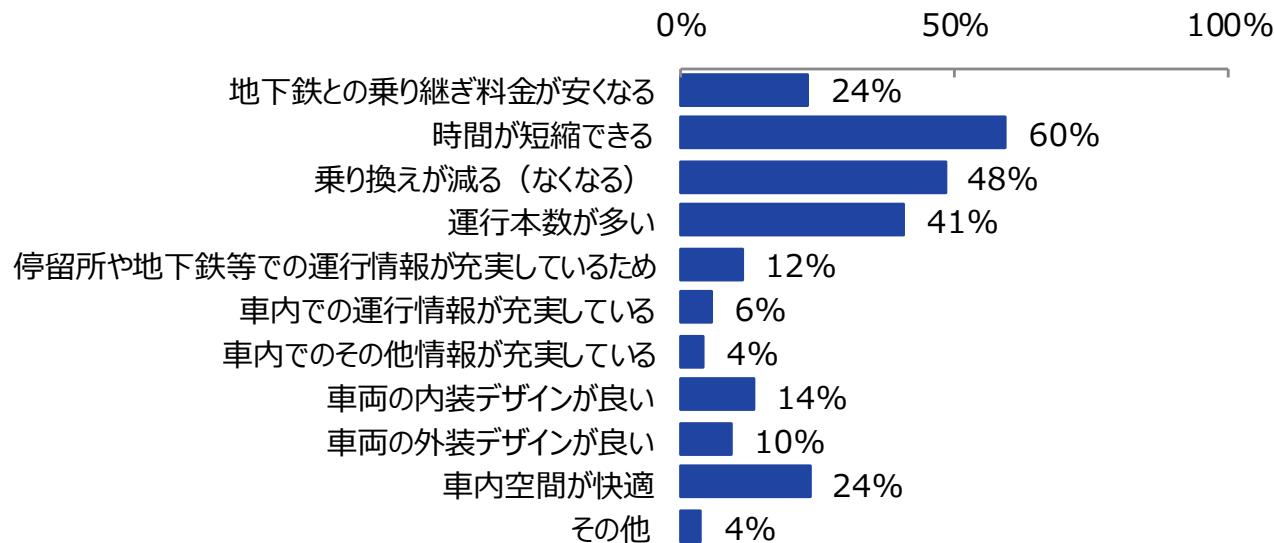
N=567

資料) 住民調査・WEB調査

沿線区にお住まいでいまざとライナーを利用されたことがある方の有効回答のみを集計

#### <いまざとライナーの優位点（バスとの比較）>

✓ バスよりも「時間が短縮できる」点が最も評価



N=491（複数回答可）

資料) 住民調査・WEB調査

沿線区にお住まいでいまざとライナーを利用されたことがある方の有効回答のみを集計

### いまざとライナーに関するご意見やご要望

好意的なご意見    苦情    その他ご意見やご要望



総数 384件

資料) 2019年12月末までに大阪市やOsaka Metroにお寄せいただいたご意見

#### 主なご意見等

##### ○好意的なご意見

- ・ターミナル駅に直通で行けるので便利
- ・車内に鉄道との乗り継ぎ案内を表示していて便利

##### ○苦情

- ・停留所に止まっている時間が長く一般交通の邪魔になっている
- ・交通渋滞により遅れることがある

##### ○ご意見・ご要望

- ・運行本数を増やしてほしい
- ・鉄道やバスとの接続がよくなるようダイヤを見直してほしい

## ➤ 利用実績データ及びアンケート調査結果等の総括

- ・利用者数は、4月の運行開始以降増加傾向にあり、2019年12月時点で、平日1日平均約3,000人
- ・地下鉄今里筋線延伸区間（今里～湯里六丁目間）については、全ての停留所において乗降者数が増加傾向にあるが、「中川西公園前」、「今川二丁目」、「中野中学校前」の乗降者数は他と比べ少ない
- ・平日利用者のうち、約4割が地下鉄との乗り継ぎ利用で、約5割がいまざとライナーのみの利用
- ・平日利用者のうち、約3割が新規需要で、約7割が他の交通手段からの転換
- ・沿線住民の利用者の約半数で外出機会が増加
- ・沿線住民の認知度は約8割あるものの、沿線企業にお勤め等で利用されたことがない方の認知度が低い
- ・運行状況は、概ねダイヤ通りの運行ができており、アンケート結果においても時間短縮について評価されているが、一部の停留所や時間帯において遅れたり、停車時間が長いとの意見もある

## ➤ 社会実験の今後の進め方（案）

### <改善点の抽出>

・「中川西公園前」、「今川二丁目」、「中野中学校前」の利用者が少ない

・「杭全」、「長居西二丁目」の利用者が少ない

・沿線企業等での認知度が低い

・一部の停留所や時間帯において遅れが生じることや停車時間が長いことがある

### <考えられる需要喚起・創出策（案）>

・移動ニーズの調査・分析

・乗り換え利便性の向上

・鉄道との乗換経路上への案内サインの充実  
・JR長居駅前への停留所移設の検討

・沿線企業等に対し、認知度向上のためのキャンペーン

・利用の少ない区間について重点的に未利用者を対象とした周知・PR

・沿線企業等に対し、通勤における公共交通機関への利用転換を働きかけ

・定時性・速達性の向上

・停留所間の所要時間の実績に応じて、一部運行ダイヤの見直し